

FlexRay 物理層波形観測、プロトコル解析

概要

DLM2000は、Frame Start/ID/Cycle Count/Dataなどの条件に加え、CRC/BSS/FESのエラー発生時にトリガをかけ、FlexRay物理層電圧波形を捕捉することができます。波形表示と同時にプロトコル解析結果リスト表示、デコード表示が実行され、トリガごとにリアルタイムで波形表示更新します。物理層波形とプロトコル解析結果リストを関連付けて同一画面で確認（デバック）できます。

バスドライバの電気特性試験で要求される専用パラメータ測定や、BSSビットの時間間隔を測定することで、通信遅延やサイクル時間変動の評価を行なうことも出来ます。

